



「この地球（ほし）を想う。この服をまとう。」

「オンワード・グリーン」 キャンペーン」9年目に突入

オンワードグループでは「この地球（ほし）を想う。この服をまとう。」をコンセプトに環境経営を推進。自社商品を引き取り、リユース・リサイクルすることで衣料品循環システムの構築を目指す「オンワード・グリーン・キャンペーン」を2009年からスタートさせ、今年で9年目を迎える。

2014年には「今後もこの取り組みの輪をお客様とより深めていきたい」という思いを込めた環境・社会貢献型店舗「オンワード・リユースパーク」を、緑が溢れ人と自然が共生する街であると同時に、個性的な生活文化の発進拠点である吉祥寺に新店した。

2016年には環境保護に加え、「オンワードの衣料品の寄贈」「熊本県食品生産者の支援」「熊本城災害復旧

支援金への寄付」など、震災によって甚大な被害を受けた熊本の復興支援に取り組んだ「熊本地震復興支援オンワード・グリーン・キャンペーン」を鶴屋百貨店と共催。

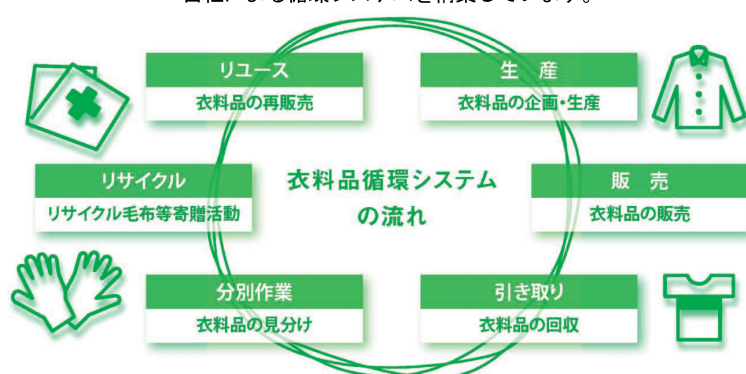
2017年は、3月1日から春の「オンワード・グリーン・キャンペーン」が全国の百貨店、ショッピングセンターなどで開催された。

同キャンペーンの趣旨に賛同した百貨店やショッピングセンターとの共同開催により、オンワードグループが販売した婦人、紳士、子供、ゴルフなど幅広い衣料品を店頭で引き取り、可能な限りリユース・リサイクルすることで衣料品の循環システムの構築を目指しており、初年度14店だった実施店舗は、昨年度100店舗を越えるまでの規模に成長している。

回収した衣料品はリサイクル

「オンワード・グリーン・キャンペーン」衣料品循環システムの流れ

「オンワード・グリーン・キャンペーン」を通じてお引き取りしたオンワードの衣料品は、可能な限りリユース・リサイクルに活用しており、自社による循環システムを構築しています。



オンワード・グリーン・キャンペーン 引き取り実績

	参加人数	引き取り衣料数
2009 年度	25,608 人	130,649 点
2010 年度	39,180 人	203,802 点
2011 年度	41,983 人	218,081 点
2012 年度	53,755 人	282,121 点
2013 年度	55,717 人	292,737 点
2014 年度	59,279 人	356,480 点
2015 年度	69,375 人	428,284 点
2016 年度	72,896 人	470,721 点
2017 年度	40,296 人	287,430 点
合 計	458,089 人	2,670,305 点

※2017 年春終了時点の引き取り実績

ルして固形燃料として活用するほか、毛布と軍手を生産し、日本赤十字社を通じて世界の被災地支援等に活用する。リサイクル毛布による支援活動は、過去9回開催しており、世界の被災地や生活困窮者に累計25500枚を寄贈した。

軍手は、災害支援、森林保全、啓蒙活動など様々な場面で配布している。また、まだ使用できる一部の衣料品は、環境・社会貢献をコンセプトとするショップ「オンワード・リユースパーク」にてチャリティ価格で提供し、その収益を環

境・社会貢献活動に役立てており、衣料品の回収からその出口まで、自社による循環システムの構築を図っている。春のキャンペーンは既に終了しているが、今秋にも開催を予定している。また、毛布の寄贈も予定されている。

なお、この9年間にわたる参加者の延べ人数（※2017年春のキャンペーン終了時）は458089人、引き取り衣料数は2670305点に及んだ。